



おじいさん

おばあさん

いつもありがとう



9月18日(月)祝日は敬老の日です。市内の小中学生3人が、幼いころからお世話をしてくれているおじいさん、おばあさんを想って書いた作文を紹介します 問合せ 教育研究所 ☎73・5178

ありがとう！これからもよろしくね

淳城南小学校 3年 森田 晴

ぼくには、じいちゃんとおばあちゃんとじじとばばがいます。

ばあちゃんは、ぼくがようち園のときに天国にいつてしまいました。ぼくは、小さかったので、ばあちゃんのことにはあまりおぼえてないけれど、ばあちゃんがくれた絵本はボロボロになっても大切にしています。

じいちゃんは、うどんやラーメンのめんを作っていたつする仕事をしていました。つるつるしためん、すごくおいしかったそうなので、ぼくもじいちゃんのめんを食べてみたかったです。じいちゃんは、いつも「はる、すごいなあ。」と、ほめてくれます。ぼくはうれしくなっています。がんばってよかったです。

祖父母のいいところ

向能代小学校 6年 三熊日南乃

私には四人の祖父母がいます。その中のおおばあさんは、私と一緒に住んでいます。おじいさんも住んでいましたが、亡くなってしまいました。

私と一緒に住んでいるのは、朴瀬のおおばあさんです。そのおおばあさんは、私が顔を見せるといつもおだやかでやさしく対応してくれて、おかしをすすめてきます。朴瀬のおじいさんは、生前いつもお酒を飲んでいました。でも、私が注意したら、素直に聞いてくれて、いつも笑顔でいいおじいさんでした。

落合のおおばあさんは、習い事の送り迎えをしてくれたり、花のことをたくさん教えてくれたりします。カメラを使うのが上手な元気なおば

いつも、これからも「ありがとう」

能代東中学校 3年 鶴木祐安

私の能代の祖父母。二人は、毎日元気に農作業に取り組んでいます。

私の学校では、五月に学校花壇の花植え作業が行われます。事前に花壇の整備が必要ですが、数年前から私の祖父母がボランティアでその作業を担っています。ゴールデンウィークの頃、農作業の合間を縫い、草取りや整地の作業を行います。東中生のために、いつも快く引き受けてくれるのです。今年も、連休明けに登校すると、雑草だらけだった花壇が、きれいに整地され、雑草もすべて抜かれて、花植えの作業を待つばかりとなりました。あの広さの花壇を二人で整備しているのを想像すると、毎年のその作業の苦勞に、本当に頭が下がる思いです。

お盆やお正月、祖父母の家に泊まりに行くこと、祖母はたくさん話をしてくれます。地域のこと、仕事のこと、最近のできごと。穏やかな表情で話す流暢な能代弁は、時々「ん？」と意味が分からないことがあるものの、祖母の話はいつもおもしろく、私も会うたびに楽しみとなります。

でも、今振り返ってみると、私自身のことを自分から祖母に伝えたことがあまりなかったように思います。「テストはよかったか?」「大会、どうだった?」と祖母が聞いてくれることは多いですが、私は「うん、よかったよ。」と、会話をすぐに終わらせてしまっていたように思います。